

20日は父の日。かつて企業戦士などと呼ばれたころとは父親像も様変わり。家族や余暇を大切に健康にも気を配る人が増え、贈る物も変わってきたようだ。育児を楽しむ「イクメン」も登場、福岡県では父親たちが自ら「パパサミット」を開く。

(玉城夏子、高梨忍)

手作りの「パパポスト」。早朝出勤や残業で会えない時、父から子へ、子から父へ、手紙をやり取りする



職場でアピール 両立ムード作り

イクメンが集うNPO法人「ファザリング・ジャパン」(東京)の九州支部を仲間3人で設立。秋には、新米パパに家事や絵本の読み聞かせのこつなどを教える「パパスクール」も開講するという。

しかし、中村さんも最初からイクメンだったわけではない。鹿児島県内で24時間態勢の薬局に勤めていた5年前は、仕事に疲れ、家に帰るとビールを飲んで寝ていた。生後6か月だった基力くんは、ふれあう機会の少ない父親を見ると大泣きした。福岡市出身の妻麻里子さん(30)

日曜の午後、シロツメクサの花が咲く公園で、パパと子どもたちがじゃれ合うように遊んでいた。中村守男さん(33)(福岡市東区)と、長男の基力くん(5)、長女野々花ちゃん(3)だ。中村さんは薬剤師で、車で約1時間かかる福岡県岡垣町の薬局に勤めている。毎朝、出勤前に子どもたちの着替えや歯磨きを手伝う。午後7時半〜8時には帰宅し、2人をお風呂に入れ、絵本を読んでやり、寝かしつける。

積極的に育児を楽しむ父親「イクメン」なのだ。4月には、

九州男児もイクメンに

◆九州・山口パパサミット
20日午後2時、福岡県大野城市曙町のまどかぴあ。「九州男児をイクメンに」をキャッチフレーズに、各県の父親代表が子育て事情などを語り合う。参加無料。定員40人。問い合わせはファザリング・ジャパン九州支部(080・2707・7373)へ。

頑張ったお父さんへ...



ポロシャツ、日傘 贈り物に人気

父の日の贈り物も、父親の「家庭回帰」傾向が強まるなかで変化している。

「以前はネクタイが主流

父の日の商戦では、売上の約6割をポロシャツが占めた。今年は、博多など九州の百貨店5社

